



善正寺だより

〒:512-0902
三重県四日市市
小杉町1014
浄土真宗
本願寺派
善正寺
☎:059-331-1670
fax:059-332-0733

掲示板法話

行き止まりの人生は空しい

往生浄土の道は有難く、嬉しい

コロナの緊急事態宣言が長引き、お寺参りも「不要不急」の仲間に入られて、嘆きの声が聞かれます。だが、仏法聴聞の積み重ねは人を育て、老いの苦悩も死の恐れも乗り越える力を頂けるのです。

あるご門徒の女性が、かねてお聴聞を通じて知り合いの高齢の女性のもとを訪ねた時、「私、だんだん弱ってきてお別れが近いようです。でもお浄土が近いと思えば、それが有難く、嬉しいのですわ」と言われたそうです。言われた彼女は、「私はとてもお浄土が近づくのが嬉しいとは思えませんが、それでいいのでしょうか？」と尋ねられました。

そんなお尋ねを聞いて、私は「この問いは親鸞聖人の門弟・唯円房(の問い)と一緒に」と思いました。そこで「歎異抄・九条」の親鸞さまと唯円さんとの問答をざっとお話しました。
「お念仏は称えておりますが躍り上がるほどの喜びが湧いてきません。また早くお浄土へ参りたいと思う心も起こりません。これは一体どう心得



たらよいのでしょうか？」と唯円房が親鸞さまに尋ねました。すると親鸞さまは「唯円房、私がかねてそんな疑問を抱いていたのだが、あなたも同じなのですわ」と言われ、「よくよく考えれば、天に踊り地に踊るほどに喜ばねばならないことを喜べないからこそ、いよいよお浄土に参らせて頂くことは間違いないと思いたししょう」と言われます。そして「遠い昔より今日まで迷い続けてきた苦悩多きこの娑婆は中々捨てきれず、まだ生まれたことのないお浄土が恋しいと思えないのは、よくよく煩惱の深い私だと思ひ知らされませんが、この世の縁の尽きる時、間違いないお浄土に参らせて頂きませう。急ぎ参りたい心のない私たちを特に阿弥陀様は憐れんで下さるのです」と言われましたよと、と彼女と語り合いました。

この世の縁の尽きることを中々「嬉しい」とは思えませんが、「必ずあなたをお浄土に生まれさせるよ」とお呼び下さる如来さまのお救いが胸に届き、あの人は嬉しくなったのでしよう。

障り多く、愚痴多き日々が、二度と迷うことなき往生浄土の人生に転換されるのです。

「この世の縁の尽きる時 如来の浄土に生まれては さとりの智慧をいだいて あるゆるいのちを救います」(浄土真宗の救いの喜び)と示されています。

行き止まりの人生は空しいが、往生浄土の(限りなき真実の生命の大循環の仲間にならせて頂く)道は有難く、嬉しいのです。



☆行事ご案内☆

10月の門信徒例会

10月17日(日)午前8時半

- ①報恩講のお勤め：報恩謝徳の御仏事
- ②蓮如上人「御文章」に見る報恩講
- ③その他：年度後半の日程等・・・

◇歌声広場 10月21日(木)午後1時、コロナに応じて開催決定。本堂で。メンバー募集中、楽器伴奏で歌う

◇夕方5時の鐘撞き 年中無休、誰でもOK、子供歓迎

◇新企画「善正寺プレバト俳句大会」孫発案。本堂に投句箱設置。メール等でも受付、自由にどしどしご応募下さい

◇善正寺ホームページ「三重善正寺」で検索、29年間毎月発行の寺報が過去一年分閲覧可。毎日更新のブログ「住職と坊守のつれづれ日記」大好評。13年間で35万6千訪問。お悩み相談、仏事相談大歓迎

◇一縁会テレホン法話 TEL 059-354-1454
3分間で週替りに三重組5か寺住職の法話が聞けます。善正寺住職担当9月20日(月)~26日(日)まで

◇報恩講の予定 11月2日午後1時半。3日午前10時 講師：藤大慶先生、2日午前のお非時は希望を伺います(※コロナ状況で変更することもあります)

新納骨堂後継者の無い方、お墓でお困りの方、ご相談を法事場所法事場所でお困りの方、本堂使用可、ご相談を

☆ 写真アラカルト ☆



坊守スケッチ

人間万事塞翁が馬



東京五輪・パラリンピックもついに終わりました。コロナ禍で開催が否か直前まで気を揉みましたが、関係者や選手の皆様にお疲れ様。ありがとうございますという他ありません。私はトップアスリートの競技よりも、パラ選手が歩んだ厳しい人生に関心を持ちました。障害を乗り越えて、堂々と世界大会へ出場するまでの人間的成長に感動しました。

ところで9月6日付の毎日新聞で60代父親の投書に注目しました。

「私はパラ選手団の旗手になった谷真海選手(トライアスロン)を応援しました。理由は私の息子が谷選手と同じ悪性腫瘍で右脚を切断しました。切断後の努力が如何に大変なものか分かっていたので、息子は高2で発病して即切断を勧められたのですが断固拒否。他の治療法を模索している間に再発して、遅まきながら切断手術をした時には肺へ転移。大学4年の時に亡くなりました。早く手術しておけばよかったと後悔しました。同じ病魔に侵された人々には、谷さんの活躍が大きな励みになり、生きる勇氣と元気を授けるでしょう。亡き息子もきつと喜んでいきます。有難う」

人生の不幸は予測しがたいものです。現在不幸のどん底にいる人でも、決して悲観せずに一生懸命努力すれば、必ず新しい道は開けます。

そしてパラ五輪でもう一人注目した選手がいます。女子パラマラソンで金メ

ダルを受賞した道下美里選手(44)です。彼女は中2で右目、25歳で左目失明。両眼が見えないストレスから大食いになり太り始めたので、盲学校で覚えた音源を頼りに走り始めました。彼女の頑張りを見て、伴走をサポートする仲間が次々に集まりました。練習は毎月600キロ、700キロ走る過酷さ!

「スタートラインに立てたのも、この環境を作ってくれたのも、仲間のおかげ。リオでは銀メダルだったが、東京で金メダルが取れて最高に嬉しく、仲間感謝です」と彼女は明るく語りました。

『人間万事塞翁が馬』。何事も諦めずに、自分を信じて歩み続けるならば、きつと手を差し延べてくれる人がいます。どんな人も救われる社会。これこそ「多様性と調和」のパラ五輪だと思います。

俳壇

朝顔や子らが育てる三つ四つ 釋妙水
その出会い右か左か盃蘭盆会
もろとも大河も包む濃霧かな 釋榮邦
新米の食卓平和噛みしめる
風に耐え細き鎌振り子蟻螂
草刈り機青き匂いを撒き散らし
百日を過ぎ百日紅尚も紅 釋清風
刈入れを終えし田圃に鷺夫婦
山の朝生き急ぐかなつくつくし
敬老や紅白饅頭はタオル 釋秀龍
アメリカのペン立て5ドル流星よ
赤トンボ応接室のどんじゃんけん

若坊守の子育て日記No.82

七月末から十日間、私の得度習礼がオンラインで実施され無事終了しました。応援して頂いた方や家族のサポートには感謝しています。得度式後、正式に僧侶資格を頂戴しますが、まだまだ未熟ですのでどうかよろしくお育て下さい。

さて私がパソコンと睨めっこしている間に、オリンピックが閉幕し、コロナ感染者数が三重県で急拡大。緊急事態宣言が発出されました。

新学期の小学校では、プリントとオンライン授業で開始されました。学校のタブレットは接続に手間取り、途中フリージングして、どの家庭も苦労したようです。我が家は個人のタブレットとパソコンを使用しました。オンライン授業初日、低学年ではタブレット出！クラスの半数しか参加できませんでした。使い方に戸惑い、マイクに

家庭内の会話が丸聞こえ等、先生のご苦労は大変なものだったと思います。

子どもたちの視力低下も心配なので、こまめに窓の外を眺めるように厳しく注意しています。

まだ出口の見えない状況ですが、今できることを精一杯やろうと、親子共々奮闘する毎日です。



お知らせ

※11月2日・3日の報恩講はお勤め予定ですが、コロナ感染状況で変更の可能性もあります。またお非時は昨年同様に、希望者の持ち帰り弁当とさせて頂きます。後日別用紙にてご希望を伺います。

※「絵手紙教室」足掛け6年(通算61回)、コロナと先生のご意向で残念ながら中止になりました。「歌声広場」はコロナが落ち着いたら開催。新メンバーを募集中!新たに『善正寺版プレバト俳句大会』を孫の提案で企画。興味のある方は、どしどし応募下さい。

カンパありがとう

KF様、他匿名様より頂戴。感謝

★ 編集子より ★

「善正寺だより」334号をお届けします。◇デルタ株の第5波も一応、9月末で緊急事態宣言解除となったが、また〇〇株で第6波という事のなきよう願いつつ、報恩講の季節を迎えます。◇ただ、二年近いコロナ禍の自粛や不要不急の会合などは止めるべし、などが「日常」になると、元に戻るのが難しくなるような人間の性が根深い壁になるような気がします。◇だが、コロナにかまけている間に、我が命の終着駅が近いとすれば、それは「空しく過ぎる人生」と言わねばなりません。◇「はやく後生の一大事を心に懸けて」と言われる蓮如上人の諫言を我が事と心得て日々油断なく歩みたい。合掌。

三重県に緊急事態宣言が発令され自粛の連続です。
小中学校はオンライン授業で時間を持って余し、部屋に
引きこもってゲームに熱中する子もいるそうです。大人も
人に会えずにうつ状態。老人は外出できず足腰が弱り
認知症が進んだ人が増えたそうです。夫々の工夫と智慧
でこの難局を乗り越えましょう。ところで10月号の坊守
スケッチ人間下事寒公新が馬を簡単に補足説明します。
これは二千年前の中国の故事成語です。「その昔中国北
辺の塞に住む老人の飼っていた馬が逃げ出し世間の人々は
同情したが老人は「これは福となるかもしれない」と言った。
やがて逃げ出した馬が駿馬を連れて戻り人々は喜んだが、
老人は「今度は禍となるかもしれない」と言った。その後馬に
乗っていた老人の息子が落馬して骨折し、周囲の人は憐
れんだが老人は「これは福となるかもしれない」と答えた。一年
後戦争が勃発し頑強な男達は兵役に就いたが骨折
した息子は兵役を免れ、親子共に命拾いをした」という
逸話です。人生の何が福となり禍となるか分からないという
例え話です。人間社会に起こる様々な欲望に振り回され
ず自分の命を守る為にありのままに生きるのが大事だ
という教えです。コロナ禍を生きる私達ですが世間の噂に
惑わされず自分を見失うことなく次の世代に何を伝え、
受け継がせるべきかが問われています。コロナは依然として
油断できません。くれぐれも用心して日々精一杯勤めましょう。

令和三年十月 合掌 善正寺坊守 拜